

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	1-3	政策名	商業の振興	政策の 目指す姿	商業機能を充実し、人とモノ の流れを活発にしています	施策 主管課	商工労政課	施策主管 課長名	古川 昌
	施策No.	2	施策名	商店街の再生	施策の 目指す姿	歴史と景観が調和した魅力あ る商店街となっています	関係課名	大迫・地域振興課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・商業機能の郊外化や後継者不足により、空き店舗が増加するなど、市街地の商業機能は低下しており、買い物客等の人々が行き交う場が少なくなり、街なかにおける人と人との交流の機会が失われています。 ・商店街の空洞化を防ぐため、遊休不動産の活用や新規出店者などへの支援が求められています。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

- ・中心商店街にある遊休不動産の活用を促進する取り組み（リノベーション）により新規出店者などの創業支援を進める。
- ・各商店街のニーズに対応した、イベントの支援や利便性能の向上を図る。

（反映状況）

- ・リノベーションによるまちづくりのスクールへの支援、そして、参加した受講生への継続支援により新規出店に繋がった。
- ・立地適正化計画に沿った中心市街地の賑わいづくりの促進のため、未利用店舗を活用した事業への補助対象エリアの見直しを行い、中心市街地での商業機能の維持に努めた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 商店街の賑わいづくり支援

○ 商店街のイベント支援

- ・商店街振興組合等が商店街の賑わいづくりのために行うイベントに係る費用の一部を補助

○ 商店街共同施設の整備支援

- ・商店街がアーケードや街路灯等の共同施設の整備や補修等に係る経費の一部を補助
- ・商店街での買い物客への利便性を高めるため駐車場を確保

○ 商店街における憩いの場づくり

- ・「市民ふれあい広場」を設置し、商店街における買い物客や一般市民への利便性施設として提供

○ 未利用店舗への新規出店の促進と定着支援

- ・中心市街地の賑わいづくりを促進するため、未利用店舗を活用して行う事業者に対して改装費、広告費に係る経費の一部を補助

(2) 歴史と景観が調和した商店街づくりの推進

○ 地域住民による特色を生かした商店街づくりの支援

- ・中心商店街の賑わいづくりを促進するとともに自主的なまちづくりを促進するため、地域住民や関係団体の取り組む事業に交付金を交付

○ 先人や歴史を活用した街なか誘導への取組支援

- ・日本ワインフェスティバル花巻大迫への支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市街地における一日 当たりの歩行者数	市街地に人がどれだけ 来たかを示す指標	出典：商工会議所「通 行量・交通量調査」 ※調査全ポイント(花巻 14、大迫1、石鳥谷1、 東和2)、日曜日1日 (7:30-19:30)計測	人	目標値	9,000	9,000	9,000	6,000	6,000	6,000
				実績値	7,668	5,752	5,008	6,249	5,845	
中心市街地の新規出 店数	多様な商業形態であるこ とを示す指標 (中心市街地における新 規出店状況)	まちなか創業支援事業 費補助金交付件数、リ ノベーションによる新規 出店数	店	目標値	5	5	5	5	5	5
				実績値	7	0	3	2	6	

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■ 成果指標「市街地における一日当たりの歩行者数」…【達成度b】 市街地における歩行者数が減少した要因としては、29年度にみられたマルカンデパート復活による増加が一段落したと考えられるが、各種商店街活性化施策の展開、支援を行うことにより、一定の市街地通行量を確保することができた。</p> <p>■ 成果指標「中心市街地の新規出店数」…【達成度a】 リノベーションによるまちづくりの浸透などにより、中心市街地での空き店舗を利用した新規出店事業者が増加しており、商工会議所との連携による創業支援やリノベーションによるまちづくりの推進により、実績増につながった。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結	
1-1	商店街賑わいづくり事業 商店街団体等が実施する賑わいづくりイベント事業を支援 (イベント補助:13件、補助金額:4,349千円)	商工労政課	一致	直結	B
	A				
1-2	商店街賑わいづくり事業 中心市街地の未利用店舗を活用して出店する事業者に対し、店舗の借り上げに要する経費を支援 (補助金交付:平成30年度新規出店者5店舗、経営指導:5店舗)	商工労政課	一致	直結	A
	A				
1-3	商店街賑わいづくり事業 市の事業に密接な関係にある花巻商工会議所、岩手県中小企業団体中央会等に対し補助金を交付	商工労政課	間接・ 少数	直結	B
	B				
4	日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催支援 日本ワインフェスティバル花巻大迫の開催支援 (総来場者数5,000名)	大迫・地域振興課	一致	直結	B
	A				
2-1	商店街利便性向上事業 商店街の利便性向上を図り賑わいづくりを促進するため、商店街の便益施設管理や共同施設の補修や設置の経費への補助を行うほか、大迫地区内中心商店街来訪者向けの駐車場を確保する。	商工労政課	間接・ 少数	直結	B
	B				
2-2	商店街利便性向上事業 商店街の利便施設「市民ふれあい広場」の運営を支援 (対象:一日市、大迫、石鳥谷、東和)	商工労政課	間接・ 少数	直結	B
	B				
3	商店街景観形成事業 大迫、石鳥谷、東和それぞれの中心市街地の顔づくり事業に取り組む商店街等を支援(交付金の交付団体数:3団体) 中心市街地活性化と賢治の世界に触れ合う市民交流の場である賢治の広場を運営(入館者数:15,377人 前年比△359人)	商工労政課	一致	直結	B
	A				

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか) ・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか) ・災害公営住宅等の完成(平成31年3月)、総合花巻病院の開院(令和2年3月)などによる、上町や大町エリアをはじめとした中心市街地への人の流れが増えることが見込まれ、新規出店者への更なる支援が必要。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか) ・新規出店を促すことに加えて、既存事業所等の今後の経営方針等を把握し、事業を継続するための支援を検討する必要がある。</p>
--

6 施策の総合的な評価

<p>(課題) ・少子高齢化、人口減少、サービスの多様化など構造的な要因による既存商店街の衰退の流れを止める必要がある。 ・未利用店舗の増加による商店街のスポンジ化を解消する必要がある。</p> <p>(今後の方向性) ・中心商店街にある遊休不動産の活用を促進する取り組みにより新規出店者などの創業支援を進めることに加えて、上町や大町エリアをはじめとした中心市街地の物件調査を行い、新規出店希望者への速やかなマッチングにつなげる。 ・中心市街地における既存事業所の今後の経営方針を調査し、事業継続に向けた支援策を検討する。</p>
